

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	豊住ふれあい健康館、北羽鳥多目的広場		
指定管理者	豊住ふれあい健康館等管理運営委員会		
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日	～ 令和 10 年 3 月 31 日	1 年目
施設所管課	シティプロモーション 部		スポーツ振興 課

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	S	A	
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	S	A	
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A	
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A	
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A	
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A	
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	S	A	
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A	
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A	
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A	
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A	
		避難経路は適切に確保されているか	A	A	
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A	
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A	
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A	
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構築されているか	A	A	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A	
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A	
	その他		—	—	
	【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 19 項目・本施設 19 項目)		A	
	指定管理者の自己評価	指定管理者2期目がスタートし、これまでの経験を活かし、常に効率の良い管理体制を検討、外部委託費の縮減、除草アルバイトを採用するなど地元雇用の拡大に努めた。危機管理として、市が主催する避難所運営研修や訓練に積極的に参加した。法改正により個人情報保護規定、情報公開規定の見直しを図った。			
	施設所管課の評価	個人情報の保護に関する法律等の一部改正に伴い、指定管理者の個人情報保護規程、情報公開規程の改正作業を適切に実施できた。また、人員体制については労働関係法令を遵守し、適切な配置を徹底しており、毎月の実績や事業の報告、市との連絡調整は漏れることなく迅速に実施できている。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
II サービスの内容や水準に関する評価	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	—	—
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	S	S
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	S	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	S	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	S	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	S	A
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	A	A
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	A	A
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A
	その他		—	—
	【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)	A	

指定管理者総合評価シート

様式 4

Ⅱ 評価	指定管理者の自己評価	利用者が満足してサービスの提供を受けられるよう職員の接遇力などスキル向上に努め、サービス水準を向上させることに職員全員が常に注力し、各事業の終了後はアンケート調査を実施し、利用者の声を積極的に反映している。節電プログラムの達成や常に節電等の省エネルギーや省資源化に努めた。老朽化に伴う修繕箇所を発見した際は、市への報告、早期修繕の実施を行った。
	施設所管課の評価	利用者対応等のサービスにおいては、利用者の満足を十分に得られるものであり、苦情は殆ど発生しなかった。各種実施事業も滞りなく行われ、参加者も定員通り実施できた。また、利用者数においては、今年度の合計利用者数が豊住ふれあい健康館で前年度比106%となる伸びをみせており、利用促進に取り組んだ成果が出ていることから項目評価をSとした。

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 収支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	S	A
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
	その他		—	—
	【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価（標準 6 項目・本施設 6 項目）	A	
	指定管理者の自己評価	経理事務については、適格事業所登録を行い、スキャナー導入などにより電子保存するなどインボイス制度に対する対応を行った。予算の執行に関しては、顧問税理士と定期的に打ち合わせと相談、適正仕訳とシステム管理を行い、事業計画に則した執行を行っている。経費削減については、特に外部委託の削減策として、優良事業所として特例認定免除を受けるなどの制度を活用し、経費削減に取り組んだ。		
	施設所管課の評価	経理については、税理士との連絡・相談を密に行い、事細かに帳簿等をつけており、適切に経理処理が行われている。予算執行についても、適正に執行されていると判断でき、限られた予算の中で、様々な経費節減に取り組み、効果を上げている。		

評価項目		評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価
Ⅳ 目標管理に関する評価	目標①	利用者数の向上		S	S
	目標②	利用者が公平かつ安全に利用できる管理運営に努める。		S	A
	目標③	スポーツ等の振興・本格的な自主事業の取り組みを行う。		A	A
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価（標準 3 項目・本施設 3 項目）	A		
	指定管理者の自己評価	本年度、年間を通して新たに取り組んだ「月曜トレーニング教室」、「フラダンス教室」などの中でも利用者が少なかった曜日をターゲットに開催した教室が好評で、新たにサークルが誕生するなど切れ目のない利用状況を作れたことが利用者数向上につながったものと判断している。また、多目的広場の利用についても新たな種目の利用を促進する観点から、自主事業として「ミニラグビー大会」を開催した。			
	施設所管課の評価	利用者数の比較的少ない曜日に教室を開催したり、利用者数の割合が高い年齢層をターゲットにした事業を展開するなどの工夫が、利用者数の増加につながっている。			

V	【総合評価】	I～Ⅳの総括による総合評価	A
---	--------	---------------	---

Ⅵ 特記事項	特に評価される点	個人情報保護規程及び情報公開規程を改正するなど、適切な管理体制に努めるとともに、施設の特色に合う新しい事業に取り組んだ結果、過去最大の利用者数となるなど、特に評価できると判断した。引き続き利用促進に取り組みつつ、適切な管理の継続を期待する。
	改善が望まれる点	